

# 令和6年度 技術・家庭科 家庭分野 <1年> シラバス (年間学習計画)

## 1 学習の目標

- 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 2 学習の内容

月	学習内容	学習目標
4	ガイダンス 1 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活 ①今の自分とこれまで ②わたしの生活と家族・家庭 ③家庭を支える社会	・家庭分野の学習内容や学習目的、授業の進め方を理解することができる。各自の学習の目標を立てることができる。 ・家庭での活動を考え、家庭には様々なはたらきがあることを理解することができる。 ・自分や家族の生活は家庭内外での活動に支えられていることに気付くことができる。
5	④中学生にとっての家族 (2) 家庭生活と地域のかかわり ①家庭生活と地域での活動 ②多様な人びとが暮らす地域 ③地域に暮らす高齢者 ④高齢者とのかかわり	・家庭生活と地域とのかかわりについて理解することができる。 ・地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解することができる。 ・地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者を理解することができる。
6	2 衣生活 (1) 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化	・目的に合った衣服を選び、自分らしい着方を工夫することができる。 ・衣服の社会生活上のはたらきを理解することができる。 ・洋服と和服の構成のちがいや和服の着方を理解することができる。
7 8 9	④上手な衣服の選択 (2) 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管	・衣服の正しい表示や既製服を選ぶポイントがわかる。 ・衣服の状態に応じた手入れの必要性がわかり、適切な手入れができる。 ・製作に必要な材料・用具・目的に合った縫い方などを理解することができる。
10 11 12	(3) 生活を豊かにするものの制作 ①エコバッグを作ろう ・ミシンを使って縫う (4) 持続可能な衣生活	・布を用いた物の製作を考え、手順に従って作業を進め、それぞれの製作の特徴を理解し、目的に合った作品を製作することができる。 ・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考えることができる。
1 2 3	3 住生活 (1) 住まいのはたらきとこちよさ ①住まいのはたらき ②住まいの空間 (2) 安全な住まいで安心な暮らし ①家庭内事故への備え ②災害への備え (3) 持続可能な住生活	・住まいの基本的なはたらきを理解し、住まいに必要な空間とその役割を理解することができる。 ・災害への備えの必要性がわかり、住まいや地域における工夫を考えることができる。 ・学習活動をふり返り、自分の生活へ生かしたいことをまとめることができる。
	4 学習のまとめ	

令和6年度 技術・家庭科 家庭分野 <2年> シラバス (年間学習計画)

1 学習の目標

- 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	学習内容	学習目標
4	ガイダンス 1 食生活	・家庭科の学習目的や学習内容、授業の進め方を理解することができる。 ・各自の学習の目標を立てることができる。
4	(1) 食事の役割と食習慣 ① 食事の役割 ② 健康によい食習慣	・生活の中で食事が果たす役割を理解することができる。 ・栄養のバランスのよい食事を規則的にとることの重要性を知り、健康によい食習慣について考えることができる。
5 6	(2) 中学生に必要な栄養を満たす食事 ① 中学生の発達と必要な栄養 ② 栄養素のはたらきと6つの基礎食品群 ③ 栄養バランスを目で見て判断 (6) 献立づくり	・中学生に必要な栄養の特徴について理解することができる。 ・栄養素の種類とはたらきを理解することができる。 ・食品成分表を使って栄養素や量を調べることで特徴を理解することができる。 ・中学生に必要な栄養の特徴や食品群別摂取量のめやすについて理解することができる。 ・食品群別摂取量のめやすを利用して1日分の献立を考えることができる。
7	(3) さまざまな食品とその選択 ① 生鮮食品の選択と保存 ② 加工食品の選択	・食品が口に入るまでの流れや食品の購入のしかたについて理解することができる。 ・生鮮食品の選び方を理解することができる。 ・食品加工の特徴を理解し、目的に応じた選択ができる。
8 9	③ 食品の安全と情報 (4) 日常食の調理 ① 調理の計画 ② おいしさと調理	・情報を正確に読み取って判断し、選択できるようにする。 ・調理の目的や流れと手順を理解し、計画を立てることができる。 ・安全と衛生に留意し、環境に配慮した調理実習について理解することができる。
10	③ ますます好きになる肉料理 ・調理実習 ④ こんなにおいしい魚の調理 ・調理実習	・食品の特徴や調理法を理解し、安全と衛生に留意して、協力しながら効率よく実習を行うことができる。
11	⑤ 好きになる野菜の調理 ・調理実習	・食品の特徴や調理法を理解し、安全と衛生に留意して、協力しながら効率よく実習を行うことができる。
12	(5) 地域の食文化	・和食の特徴を知る。 ・地域で生産されている食品にはどのようなものがあり、どのような料理に使われているかを考えることができる。 ・日本の食文化や行事食について理解することができる。
1 2	2 生活の課題と実践  3 消費生活・環境 (1) 家庭生活と消費 (2) 購入・支払いと生活情報 (3) 消費者被害と消費者の自立	・課題を設定し、実習や調査したことを主体的にまとめて発表することができる。 ・消費生活のしくみを理解することができる。 ・収支のバランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることを理解することができる。 ・消費生活におけるトラブルとその解決方法を理解することができる。
3	(4) 持続可能な社会	・消費生活と環境のかかわりについて理解することができる。

# 令和6年度 技術・家庭科 家庭分野 <3年> シラバス (年間学習計画)

## 1 学習の目標

- 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	学習内容	学習目標
4 5 6 7	ガイダンス 1 家族・家庭生活 (1) 幼児の生活と家族 ① 幼児のころと今の自分 ② 幼児の体の発達 ③ 幼児心の発達 ④ 発達にとってのおとなの役割 ⑤ 遊びが必要なわけ	・家庭科の学習内容や学習目的、授業の進め方を理解することができ、各自の学習の目標を立てることができる。 ・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えることができる。 ・幼児の心身の発達や家族の役割について理解することができる。 ・子どもの成長を支えるために必要なことを理解することができる。
8 9	⑥ 遊びを支える環境	・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解することができる。 ・幼児と遊ぶおもちゃを考えたり、つくったりすることができる。
10 11 12 1	(2) 幼児とのかかわり ① ふれあい体験の前に ② ドキドキワクワクふれ合い体験 ③ ふれ合い体験は幼児からの贈り物 ④ 子どもの成長と地域  ・絵本紹介のポップ作り	・保育園実習を想定して、計画の立て方や、幼児とふれ合うための具体的なかかわり方を考え、工夫することができる。 ・幼児の心身の特徴や発達を考えて、絵本紹介のポップを工夫してつくることができる。 ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考えることができる。
2 3	2 学習のまとめ	・幼児との関わり方について、考えることができる。 ・自分の成長と家族への感謝を伝えることができる。